

# 「保険診療」と「自費診療」いったいどこが違うの？ 徹底比較検証



## さし歯編

### ◆◆◆◆◆ 保険診療の場合 ◆◆◆◆◆

**前歯**は…歯科用語で「**硬質レジン前装冠**」と呼ばれているものが適用されます。金属の土台に「レジン」という樹脂(プラスチック)を使用した材質で、仕上げられています。樹脂は水分を吸収し、色も変色しやすく、耐久面でもあまり優れていません。表向きは白く仕上げられますが、裏側は金属がむき出しになるのも特徴です。また小臼歯は、同じ樹脂を使った「**HJK**」を適用する事もでき、これを使って歯を白くすることもできます。

**奥歯**は…歯科用語で「**FCK**」また「**インレー**」と呼ばれているものが適用されます。俗にいう銀歯といわれるものがこれにあたります。虫歯は治せますが、「白く自然に美しくする」という点ではかなりおとってしまいます。



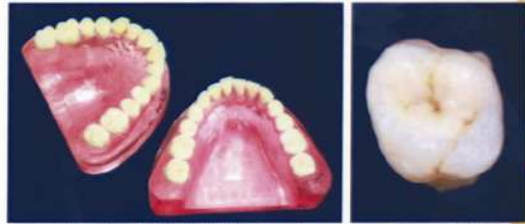
硬質レジン前装冠を裏側から見た写真です。歯根を保持するために、ほとんど金属で覆われています。



FCKの写真です。俗にいう銀歯がこれにあたります。

### ◆◆◆◆◆ 自費診療の場合 ◆◆◆◆◆

自費診療で使われるさし歯は、「**硬質レジン前装冠**」や「**HJK**」で使われる樹脂より、ワンランク上の材質でつくりあげられています。代表的なものをあげると、樹脂に「**フィラー**」と呼ばれるガラス繊維を混入して製作される「**ハイブリットセラミックス**」、生体親和性(人体に害の少ない)が良い金属に、セラミックという陶材を使って仕上げられている「**メタルボンドポーセレン**」、金属を一切使用せず、天然の歯の強度や、透明感を同じくらいまで再現する事ができる「**オールセラミックス**」この3種類が、現在最も一般的なものです。



オールセラミックスの写真です。金属は一切使わないのが特徴です。

ハイブリットセラミックスを上から見た写真です。

実は、保険診療の「**銀歯**」や「**硬質レジン前装冠**」は日本独特の治療方法で、アメリカやヨーロッパでは「**メタルボンドポーセレン**」や「**オールセラミックス**」が一般的です。「**歯を白く美しくしたい!**」と思われている方は、必ず望みどおりの治療方法が見つかりますので、一人で悩まずお気軽に担当の歯科医師に相談しましょう。

